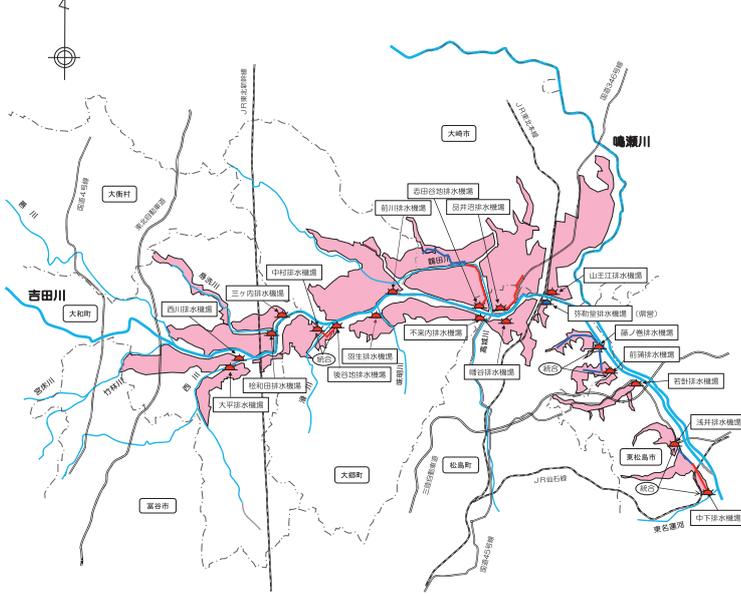


今年度から国営地区調査を実施中の2地区について紹介！

【吉田川流域地区】国営地区調査

国営土地改良事業地区調査 吉田川流域地区 概要図



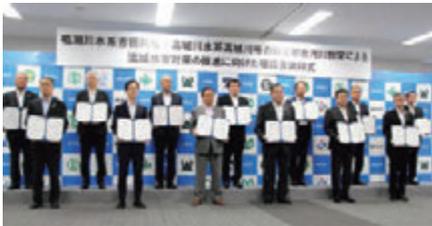
位置図	
受益面積 (ha)	
排水受益	5,066
計	5,066
凡例	
	排水受益
	排水機場(改修)箇所
	排水機場(改修)箇所
	河川
	排水路(新設改修)箇所
	排水路(新設改修)箇所

1. 事業概要

- 関係市町：宮城県東松島市、大崎市、宮城郡松島町、黒川郡大和町、大郷町（2市3町）
- 受益面積：水田4,467 ha、普通畑599 ha
- 主要工事
 - ・排水機場（改修） 12箇所
 - ・排水機場（統合） 3箇所
 - ・排水路（改修） 4路線
 - ・排水路（新設） 1路線
 - ・水管理施設（新設） 1式



▲令和元年台風19号による吉田川の決壊状況



▲「吉田川・高城川流域水害対策協議会」発足会での確認書調印式の状況

★地域協働による流域治水の取組

特定都市河川に指定！

→13機関と協力しての流域治水を目指す。

- ①排水機場群としての効果的な運用（全関係機場の運転調整等⇒統合管理）
- ②事前排水
- ③遊水地との事業連携（平常時は水田）
- ④内外水位情報の集約・共有・活用
- ⑤田んぼダムの取組による雨水の貯水

全国モデル

2. 流域治水の取組と併せて、排水施設の機能向上・再編整備

本流域の農業排水施設は、県営かんがい排水事業や県営湛水防除事業等により造成及び改修が行われてきたが、近年の気候変動による豪雨の影響で7箇所もの排水機場が稼働不能となった。これを受け、流域治水の取組と併せて、本流域を国営事業で一体的に改修及び整備する。



《現状の課題》

- 近年の降雨形態や土地利用の変化に伴う流出形態の変化、想定を上回る豪雨
 - 排水機場の排水能力が不足、排水が施設に流入し、ポンプが停止等、甚大な浸水被害が度々発生。
- H23、H27、H29、R元、R4年に湛水被害が発生。
 - R元年10月の台風19号による豪雨では、吉田川が決壊。流域の7箇所もの排水機場が稼働不能となった。
 - 地元は一刻も早い被害解消を切望。**
- 度重なる湛水被害を受け、吉田川・高城川（鶴田川）を特定都市河川に指定。
 - 流域治水プロジェクトとして関係13機関の協働による流域水害対策の推進に向けた「確認書調印式」を開催。



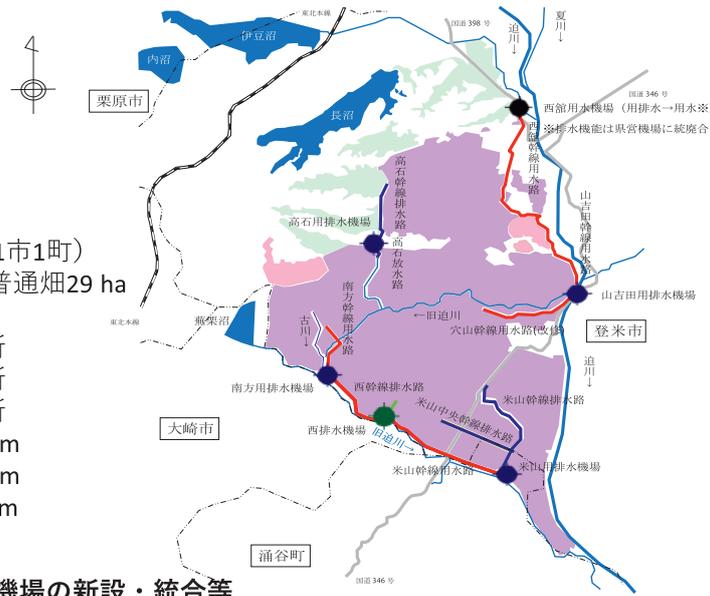
【本事業では】

- ◆19か所の排水機場を統合及び改修し、1/30確率降雨まで排水能力をアップさせる。
- ◆これまで個々に運転している排水機場を、「排水機場群」としての一元管理を目指した運用を行う。運用ルールは流域の関係者で議論し、水管理システム導入によりサポートする。
- ◆流域治水対策の全国モデルとして、関係機関と緊密な連携の在り方、先進的な取り組みを実現する。

R5年度より流域治水プロジェクトに取組む施設の国営農地防災事業の制度拡充を受け、地区調査に着手しました。早期の事業着手を目指して、急ピッチで事業計画を取りまとめています。引き続き、関係機関の協力を得ながら湛水被害の解消・減災対策が進むよう、職員一同努力していききたいと思います。

【旧迫川二期地区】 国営地区調査

国営土地改良事業地区調査 旧迫川二期地区 概要図



位置図	
受益面積 (ha)	
用排水重複	4,126
用水単独	274
排水単独	572
計	4,972
凡 例	
	用水受益
	用排水受益
	排水受益
	用水機場 (改修)
	排水機場 (改修)
	排水機場 (新設)
	用水路 (改修)
	排水路 (改修)
	排水路 (新設)

1. 事業概要

- 関係市町：宮城県登米市、遠野郡涌谷町 (1市1町)
- 受益面積：水田4,943 ha、普通畑29 ha
- 主要工事
 - ・用排水機場 (改修) 4箇所
 - ・用水機場 (改修) 1箇所
 - ・排水機場 (新設) 1箇所
 - ・幹線用水路 (改修) 18.2km
 - ・幹線排水路 (改修) 12.2km
 - ・幹線排水路 (新設) 0.8km

2. 湛水被害の低減及び排水機場の新設・統合等

【前歴事業では】

○本地区の営農は、水稻を中心に水田畑利用による大豆、麦、野菜等を組み合わせた営農が展開されており、基幹的な農業水利施設は、国営旧迫川土地改良事業（昭和41年度～昭和53年度）にて6揚水機場、11幹線用排水路を造成し、国営旧迫川土地改良施設整備事業（平成9年度～平成11年度）により改修が行われた。



《現状の課題》

○近年の降雨形態や土地利用の変化に伴う流出量の増加により湛水被害が発生。
→施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。

○経年的な施設の劣化

→用排水機場（用・排水兼用）：ポンプ設備の腐食や油漏れ。
→用排水路：コンクリート構造物が欠損。農業用水の安定供給に支障を来している。



▲事務所職員と改良区職員との打合せ



【本事業では】

◆現況排水システムの再編や排水機能をアップさせるため、排水機場の新設・統合や幹線排水路の新設、老朽化した幹線用水路及び幹線排水路の改修を行い、湛水被害の軽減及び農業用水の安定を図る。



過給機発熱状況

▲米山揚水機場 2号エンジン故障



通常時



洪水時

▲湛水状況



▲高収益作物(キャベツ)

旧迫川二期地区の地区調査は、R5年度から3年程度かけ、実施する予定です。
R5年度は、測量、地質調査、排水解析等を実施し、R6年度は、施設の設計、営農計画等の策定を実施する予定です。R7年度は、事業計画書の審査等を行う予定としています。